

REAL LOGISTICS

**Being Group**

# 2022年12月期第1四半期 決算説明資料

株式会社ビーイングホールディングス  
(東証 スタンダード市場 9145)

2022年5月13日

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

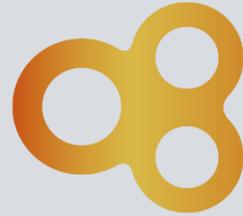
※端数の処理について、単位未満を切捨て、パーセントは小数点第一位未満を切捨てとしております。

I ... 会社概要

II ... Topic

III... 2022年12月期第 1 四半期連結業績実績

IV... 2022年12月期連結業績予想



REAL LOGISTICS  
Being Group

# I

## 会社概要

- ・ 4つの特長
- ・ 3つの成長戦略

社名	株式会社ビーイングホールディングス 【英文名】 BEING HOLDINGS CO.,LTD.
本社	金沢本社   石川県金沢市専光寺町レ3-18 TEL : 076-268-1110 / FAX : 076-268-6631 東京本社   東京都千代田区大手町1-1-1大手町パークビルディング7階 TEL : 03-6259-1830 / FAX : 03-6259-1831
代表者	代表取締役社長 喜多 甚一 (キタ シゲカズ)
設立	1986年9月17日
資本金	661,178千円
従業員数	連結894名 (1,087名) (2022年3月末現在) 従業員数は就業人員 (当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。) であり、臨時雇用者数 (パートタイマー、人材会社からの派遣社員、季節工を含む。) は、最近1年間の平均人員を ( ) 外数で記載
事業内容	グループ会社の経営管理 ビーインググループ   物流事業   物流センター運営、コンサルティング業務 その他   旅客事業等

## グループ企業

	名称	事業内容	資本金	議決権の所有割合
①	(株)アクティー	物流事業	80百万円	100.0%
②	(株)福井アクティー		30百万円	100.0%
③	(株)東京アクティー		80百万円	100.0%
④	(株)コラビス		80百万円	100.0%
⑤	(株)A 2 ロジ		5百万円	51.0%
⑥	(株)横浜 L S P		10百万円	100.0%
⑦	(株)オリエンタル	旅客事業	10百万円	100.0%
⑧	(株)G a p p a	システム開発	5百万円	100.0%
⑨	(株)ベプロ	保険代理業	3百万円	100.0%
⑩	(株)田川自動車	自動車整備業	6百万円	100.0%
⑪	北陸物流効率化事業協同組合	燃料販売業	0百万円	35.71% (28.57%) ※1 ※2

※1 議決権の所有割合の（）内は、間接所有割合で内数

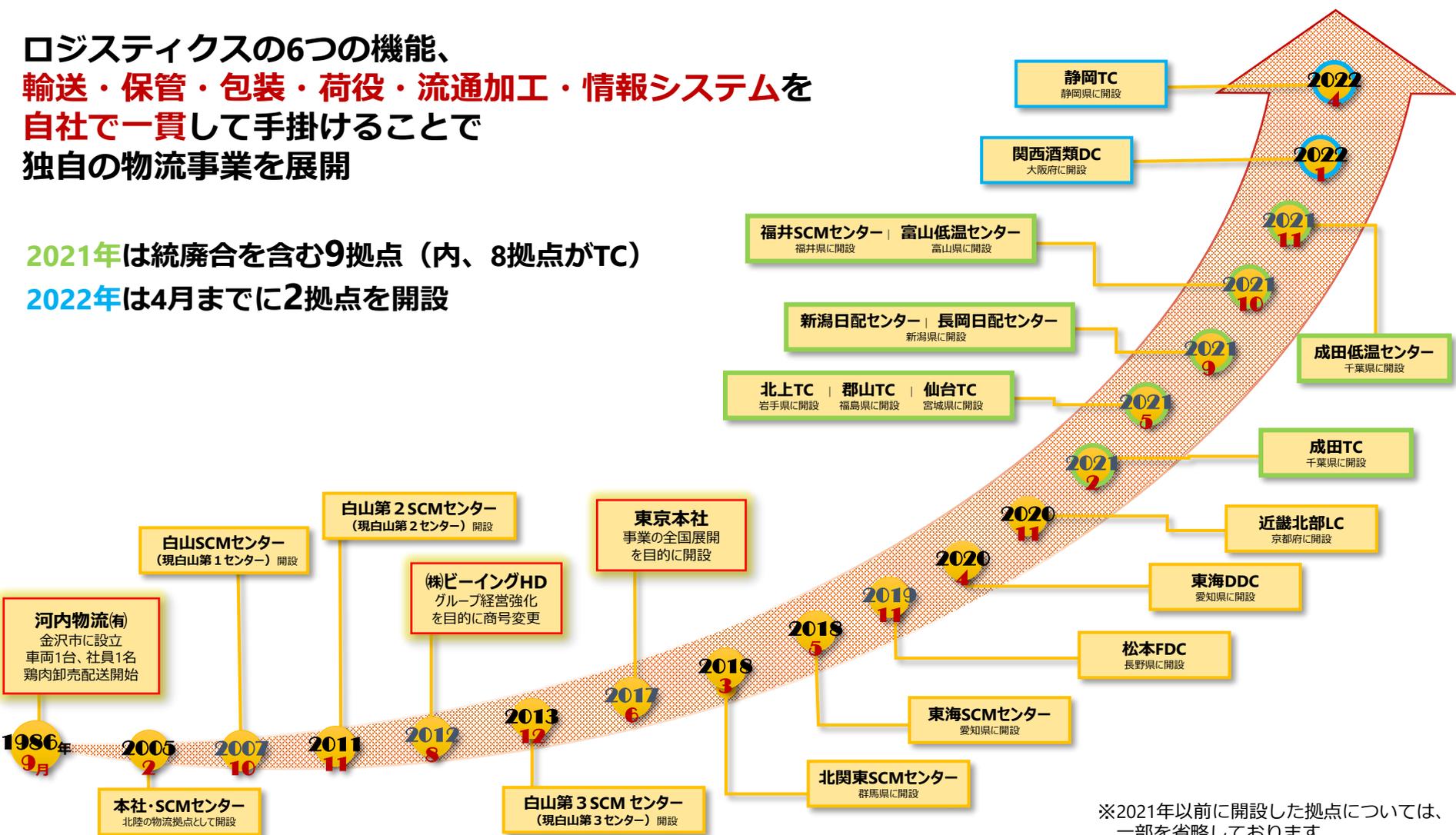
※2 議決権の所有割合は100分の50以下であるが、実質的に支配しているため子会社としたもの

# 成長の軌跡

ロジスティクスの6つの機能、  
**輸送・保管・包装・荷役・流通加工・情報システム**を  
 自社で一貫して手掛けることで  
**独自の物流事業を展開**

2021年は統廃合を含む9拠点（内、8拠点がTC）

2022年は4月までに2拠点を開設



※2021年以前に開設した拠点については、一部を省略しております。

**運送事業** → 卸の物流センター下請から卸・小売向け3PL事業へ  
 北陸から東海・関西地方へ事業エリア拡大

**関東地方へ、そして全国展開**  
 同業他社へ3PL事業をプロデュース【4PL】も展開

## 1 6機能すべてを自社で担うリアル・ロジスティクス・カンパニー

輸送、保管、包装、荷役、流通加工、更に**情報システムを自社開発**一元化する「**3PL事業**」が主軸。さらに3PL事業をプロデュースしサプライチェーン全体を管理する「**4PL事業**」を、グループ連携を図り同業他社へ展開

## 2 小売・卸売事業者向け3PL事業に注力

取り扱う商品は**生活物資に特化**。3温度帯(冷凍・冷蔵・常温)の食品、医薬品、化粧品、日用品の**小口物流に強み**を持ち、卸売企業及びコンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストアの物流センター運営を受託

## 3 「運ばない物流<sup>®</sup>」「見える物流」でロジスティクスの合理化・全体最適化を実現

メーカー、卸売、小売間で実施する拠点間配送、在庫管理、検品などを拠点物流センターに集約し、自社開発の管理システム「**Jobs**」を駆使し収集した情報を顧客と共有し、構内・配送業務の徹底した合理化により全体最適化を実現



成長  
戦略

関東から

## 全国への展開

を見据えた  
物流基盤の構築

# 1

既存顧客内での

## 当社

## シェアアップ

に注力

成長  
戦略

# 2

量の拡大と質の変革

## 長期成長イメージ

成長  
戦略

# 3

# 成長戦略 1 全国への展開

北陸に強い基盤を築き、東北から関西まで

■ **18**都府県 **53**物流拠点に拡大

■ 従業員数 **1,981**名

■ 輸送力 **1,094**台  
(内、自社車両 **306**台)

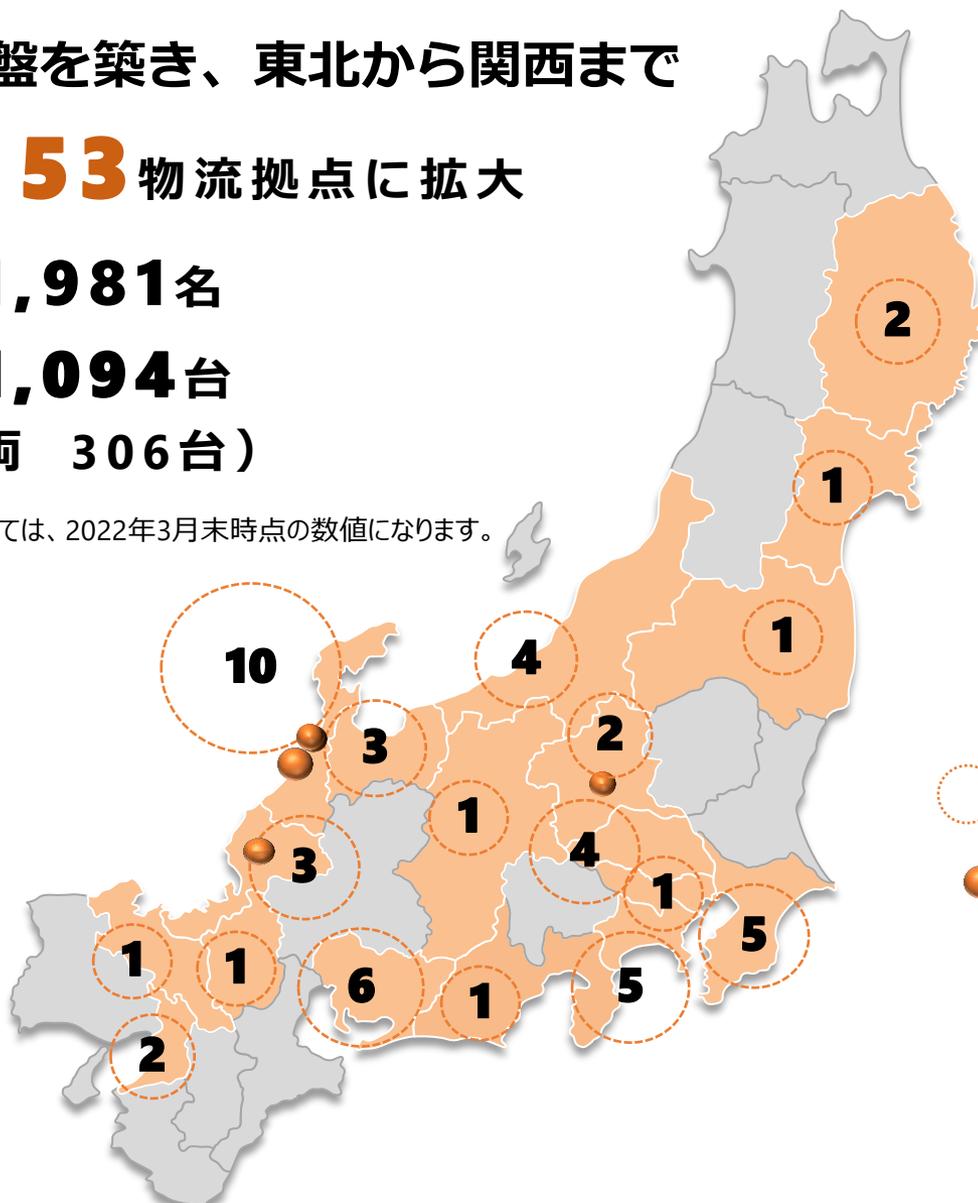
※<sub>1</sub> 従業員数、輸送力については、2022年3月末時点の数値になります。

## 2022年開設の拠点

- 1.31 大阪府で1拠点開設
- 4.21 静岡県で1拠点開設

## 2021年開設の拠点

- 2.22 千葉県で1拠点開設
- 5.20 東北3県で3拠点開設  
(分割)
- 9.30 新潟県で2拠点開設
- 10.11 福井県で1拠点開設  
(統合により2拠点閉鎖)
- 10.31 富山県で1拠点開設
- 11.30 千葉県で1拠点開設



○の中の数字は各都府県の拠点数を示す

## ● 自社所有 | 6センター

- 金沢SCMセンター (金沢市)
- 白山第1センター (白山市)
- 白山第2センター (白山市)
- 白山第3センター (白山市)
- 福井SCMセンター (永平寺町)
- 北関東SCMセンター (前橋市)

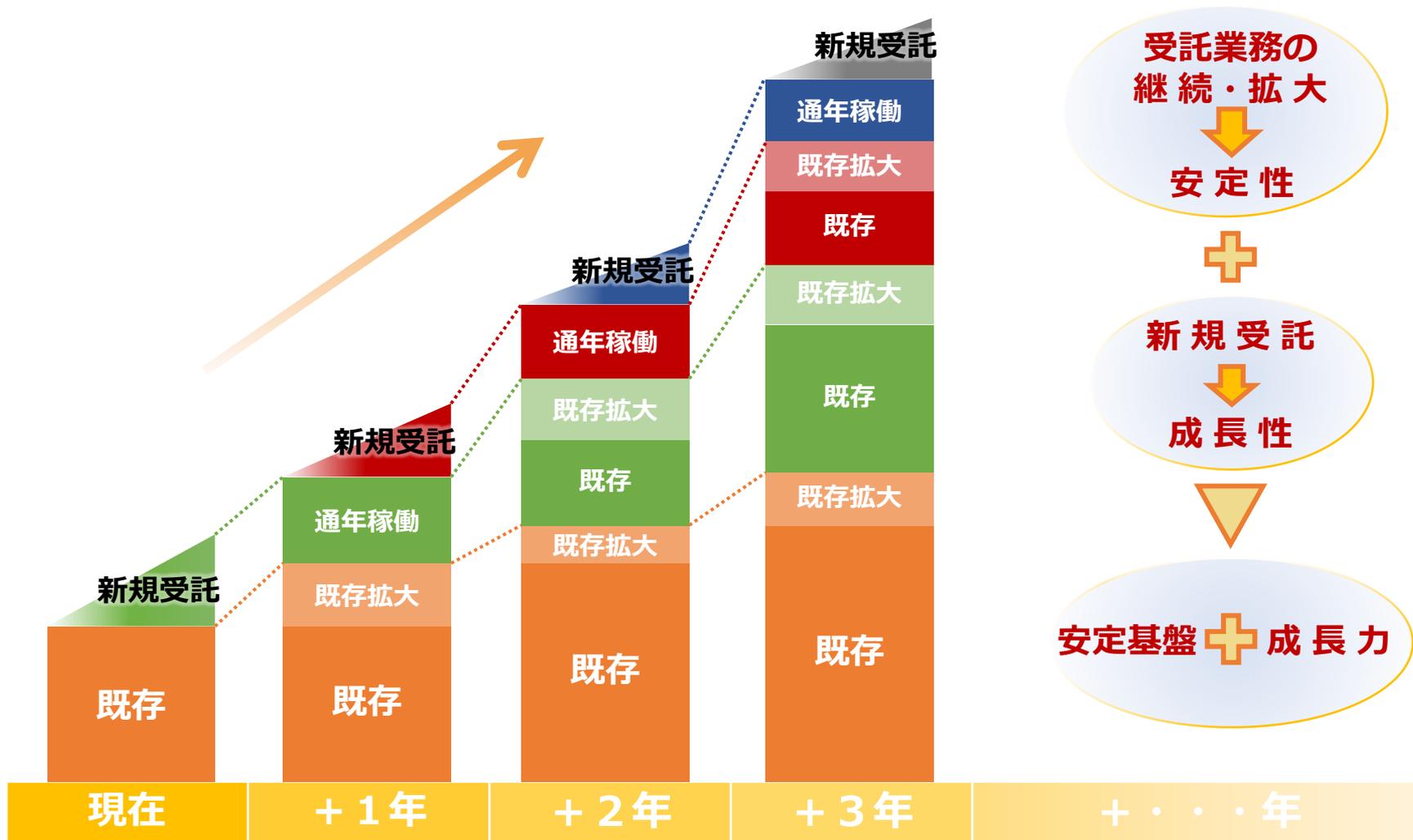
## ◆ 2022年4月末時点

※<sub>2</sub> 拠点数については、「所在地別での算出」から、2021年4月1日より「事業所別かつ所在地別での算出」に変更しております。

# 成長戦略2 シェアアップによる収益の増加モデル

高い契約継続率による長期間のお取引

安定した収益構造



ロジスティクスの創造的革新に向け

「量」の拡大と「質」の変革で挑む

「小売りビジネスの物流プラットフォーム」  
目指す

「データネットワークセンター」  
構築

- モノに関する様々なデータを収集・管理・分析し、サプライチェーンに携わる事業者同士を繋げ、クラウド上で管理

- 3PL事業をプロデュースしてサプライチェーン全体を管理する
- 「4PL」事業及び、「DXプラットフォーム」を同業他社へ提供

サプライチェーンの  
全体デザイン力拡充する

技術・システム  
開発

- 拠点間物流を合理化

3PLビジネスの  
スピーディーな拡大

顧客  
拡大

エリア  
拡大

M&A

「質」  
の  
変  
革

「量」  
の  
拡  
大

研究開発

AIやIoTを使った省力化設備や高生産性・高品質の業務フロー  
DtoC、オムニチャネルに対応する物流ビジネス

現在

将来



REAL LOGISTICS  
**Being Group**

**II**

**Topic**

## ■ 2022年1月31日、大阪府に新センター「関西酒類DC」を開設

- 関西エリアでの新規業務受託に伴い、酒類の物流センターを運営



## ■ 2022年4月21日、静岡県に新センター「静岡TC」を開設

- 中部エリアでの業務拡大に伴い、既存の拠点から業務の一部を移管して、静岡県における食品・雑貨の輸送センターの運営





REAL LOGISTICS  
Being Group

**Ⅲ**

**2022年12月期第1四半期**

**(2022年1月～3月)**

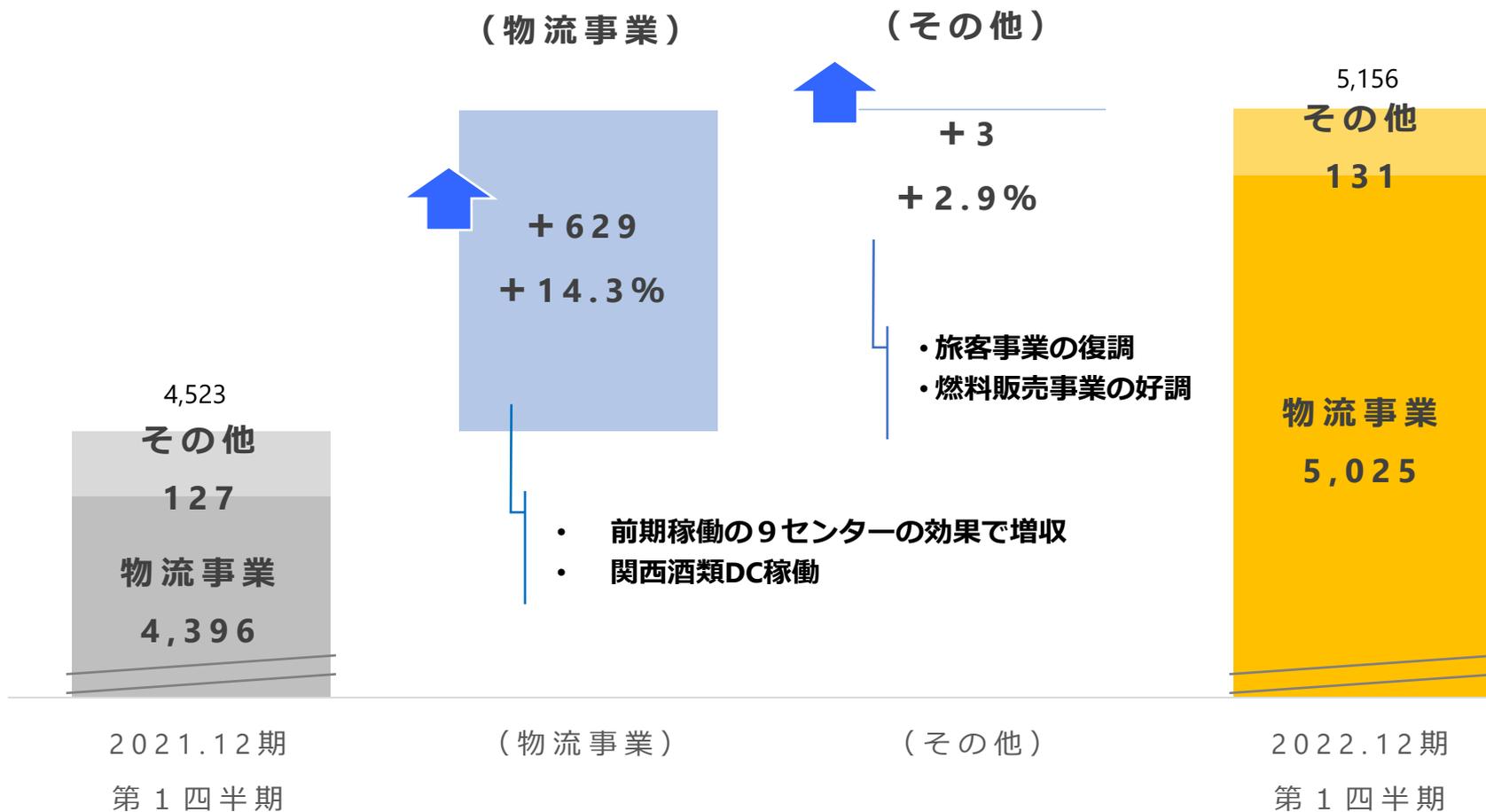
**連結業績実績**

# 2022年12月期第1四半期 損益状況（前年同期比）

[百万円]	2021年12月期 第1四半期 実績		2022年12月期 第1四半期 実績		前年同期比	
	金額	営業収益比	金額	営業収益比	増減額	増減率
営業収益	4,523		<b>5,156</b>		<b>+632</b>	<b>+13.9%</b>
営業原価	4,065	89.8%	<b>4,670</b>	<b>90.5%</b>	<b>+604</b>	<b>+14.8%</b>
営業総利益	457	10.1%	<b>486</b>	<b>9.4%</b>	<b>+28</b>	<b>+6.2%</b>
販管費	259	5.7%	<b>284</b>	<b>5.5%</b>	<b>+25</b>	<b>+9.7%</b>
営業利益	198	4.3%	<b>201</b>	<b>3.9%</b>	<b>+3</b>	<b>+1.6%</b>
営業外収益	36	0.8%	<b>30</b>	<b>0.5%</b>	△5	△16.1%
営業外費用	9	0.2%	<b>36</b>	<b>0.7%</b>	<b>+26</b>	<b>+263.2%</b>
経常利益	224	4.9%	<b>196</b>	<b>3.8%</b>	△28	△12.8%
特別利益	0	0.0%	<b>0</b>	<b>0.0%</b>	△0	△17.3%
特別損失	—	—	—	—	—	—
法人税等	78	1.7%	<b>59</b>	<b>1.1%</b>	△19	△24.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	139	3.0%	<b>120</b>	<b>2.3%</b>	△18	△13.3%

# 2022年12月期第1四半期 損益状況 | 営業収益増減要因分析

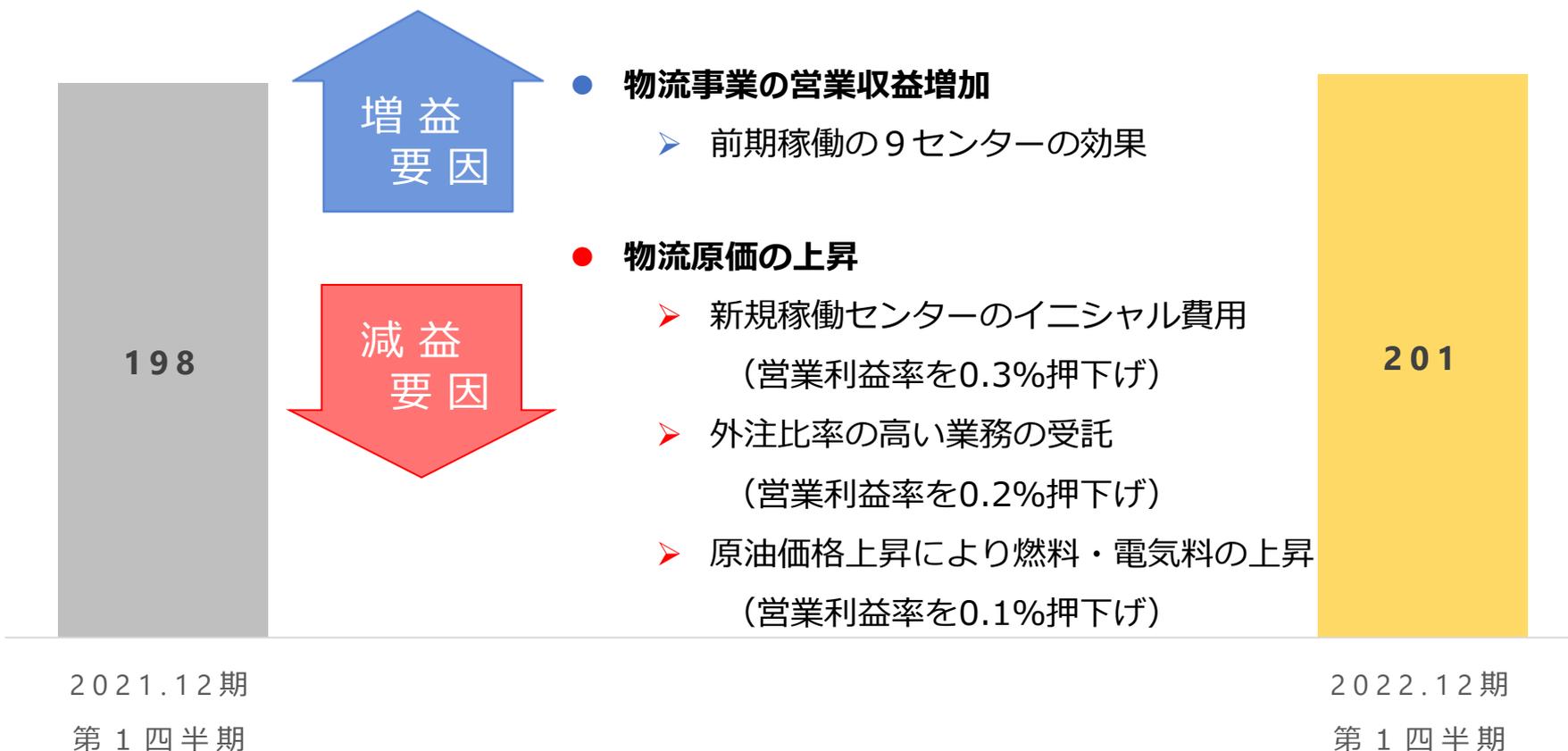
[百万円]	2021年12月期 第1四半期 実績 金額	2022年12月期 第1四半期 実績 金額	前年同期比	
			増減額	増減率
<b>営業収益</b>	4,523	5,156	<b>+632</b>	<b>+13.9%</b>



※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）を2022年12月期期首より適用しております。

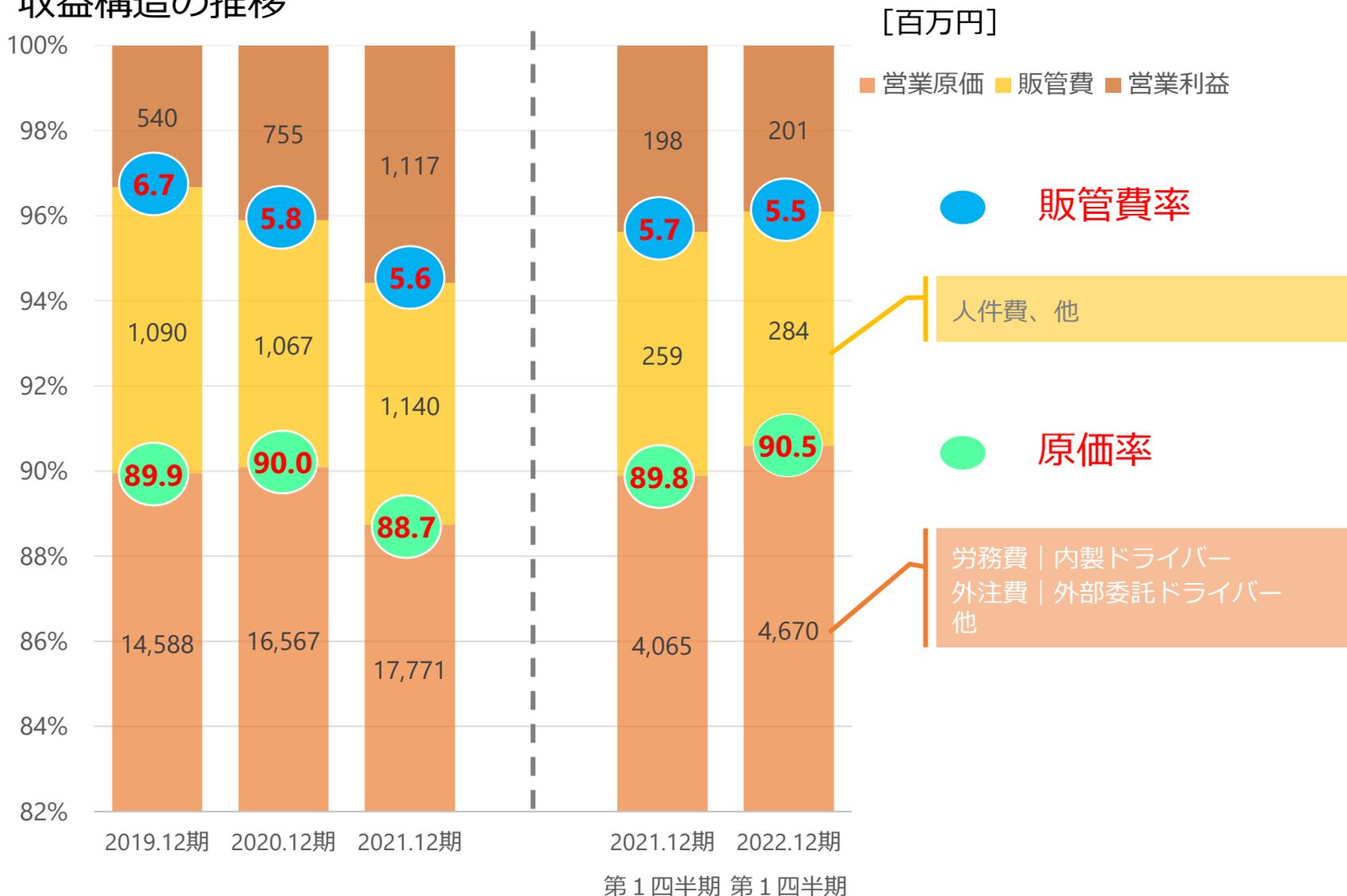
# 2022年12月期第1四半期 損益状況 | 営業利益増減要因分析

[百万円]	2021年12月期 第1四半期 実績		2022年12月期 第1四半期 実績		前年同期比	
	金額	営業収益比	金額	営業収益比	増減額	増減率
<b>営業利益</b>	198	4.3%	201	3.9%	+3	+1.6%



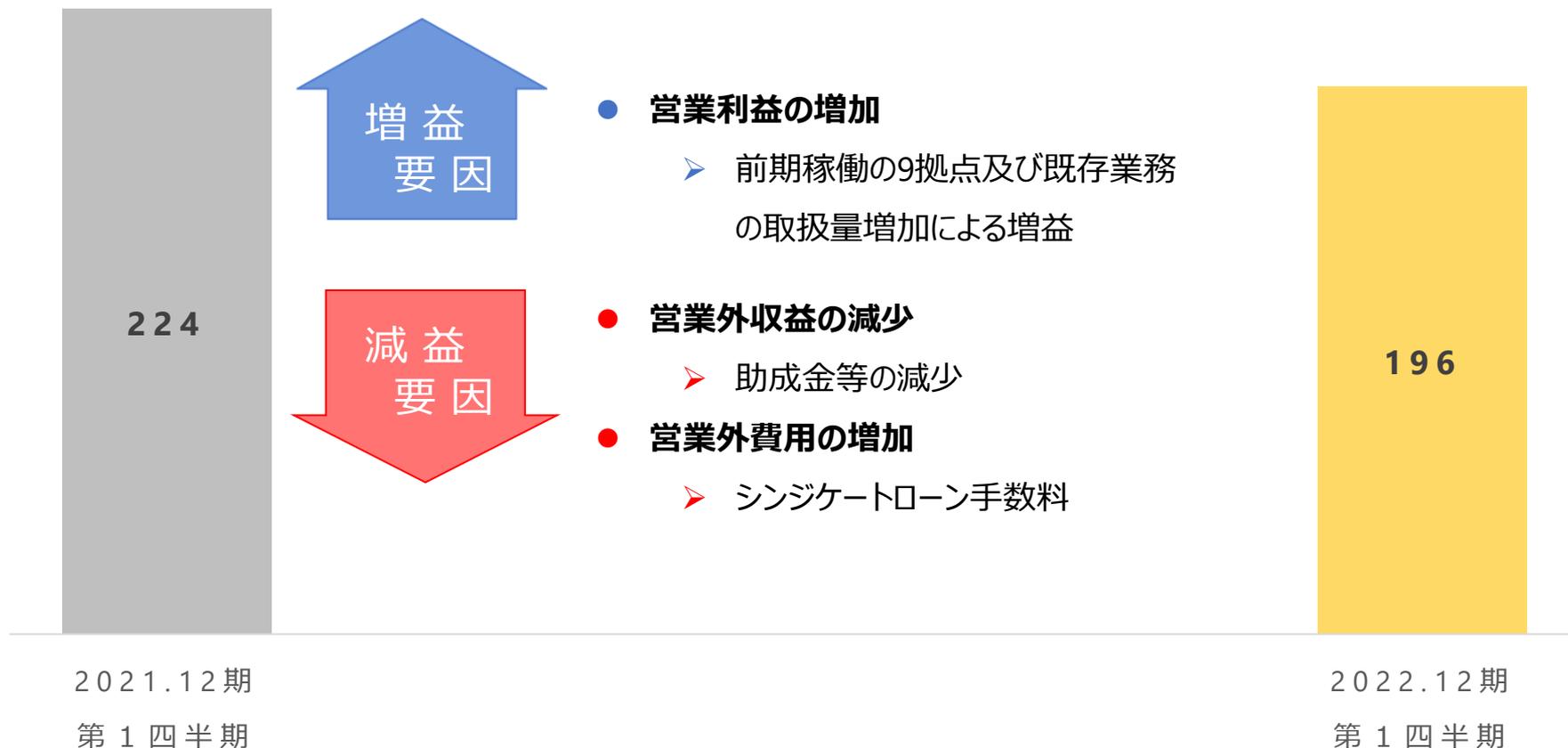
# 2022年12月期第1四半期 損益状況 | 収益構造

## 収益構造の推移



# 2022年12月期第1四半期 損益状況 | 経常利益増減要因分析

[百万円]	2021年12月期 第1四半期 実績		2022年12月期 第1四半期 実績		前期比	
	金額	営業収益比	金額	営業収益比	増減額	増減率
<b>経常利益</b>	224	4.9%	196	3.8%	△ 28	△ 12.8%
親会社に帰属する 四半期純利益	139	3.0%	120	2.3%	△ 18	△ 13.3%



# 2022年12月期第1四半期 財務状況（前期末比）

[百万円]	2021年12月期末		2022年12月期 第1四半期末		前期末比		主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
流動資産	6,617	46.9%	<b>6,105</b>	<b>45.3%</b>	△511	△7.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他流動資産 +62</li> <li>・ 現金及び預金 △348</li> <li>・ 営業未収入金 △227</li> </ul>
固定資産	7,471	53.0%	<b>7,371</b>	<b>54.6%</b>	△99	△1.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 投資その他の資産 +30</li> <li>・ 建物及び構築物 △51</li> <li>・ リース資産 △68</li> </ul>
資産合計	14,088	100.0%	<b>13,477</b>	<b>100.0%</b>	△611	△4.3%	
流動負債	5,111	36.2%	<b>4,887</b>	<b>36.2%</b>	△223	△4.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業未払金 △388</li> <li>・ 短期借入金 +500</li> </ul>
固定負債	4,676	33.1%	<b>4,308</b>	<b>31.9%</b>	△367	△7.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長期借入金 △328</li> <li>・ リース債務 △31</li> </ul>
負債合計	9,787	69.4%	<b>9,196</b>	<b>68.2%</b>	△591	△6.0%	
純資産合計	4,300	30.5%	<b>4,281</b>	<b>31.7%</b>	△19	△0.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利益剰余金 △12</li> </ul>
負債・純資産合計	14,088	100.0%	<b>13,477</b>	<b>100.0%</b>	△611	△4.3%	
自己資本比率	29.4%		<b>30.6%</b>		+1.2pt.		



REAL LOGISTICS  
Being Group

**IV**

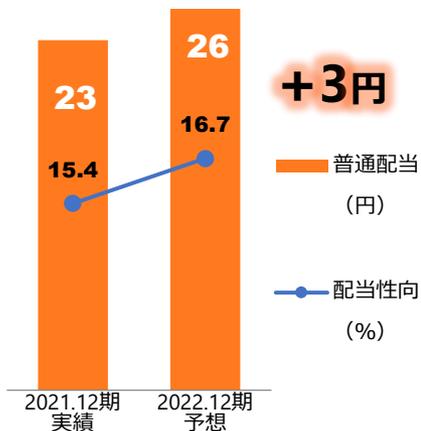
**2022年12月期**

**連結業績予想**

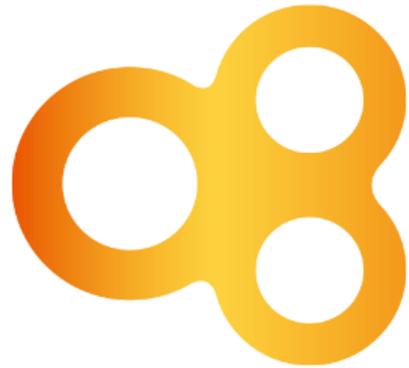
# 2022年12月期連結業績・配当予想

## ■ 期初予想から変更なし

[百万円]	2021年12月期 実績		2022年12月期 予想		前期比		2022年12月期 通期予想比 (第1四半期)		(参考) 2021年12月期 通期実績比 (第1四半期)	
	金額	営業収益比	金額	営業収益比	増減額	増減率	進捗率	実績額	進捗率	実績額
営業収益	20,029		<b>22,000</b>		+1,970	+9.8%	23.4%	5,156	23.1%	4,523
営業利益	1,117	5.5%	<b>1,300</b>	<b>5.9%</b>	+182	+16.3%	15.5%	201	24.7%	198
経常利益	1,207	6.0%	<b>1,400</b>	<b>6.3%</b>	+192	+15.9%	14.0%	196	27.4%	224
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	851	4.2%	<b>900</b>	<b>4.0%</b>	+48	+5.6%	13.4%	120	27.8%	139
1株当たり 当期純利益 [円]	149. <sup>31</sup>		<b>155.<sup>57</sup></b>							



配当基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>株主還元を経営上の重要な課題と認識</li> <li>業績や事業拡大に向けた資金需要に対応した内部留保の確保を総合的に勘案</li> </ul> <p><b>配当性向やDOEを考慮しながら、長期的に安定した配当を継続</b></p>
内部留保資金	<p>借入金返済等の財務体質の強化・戦略的な成長投資</p> <p><b>企業価値向上に努める</b></p>



REAL LOGISTICS

**Being Group**